

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）【事後評価書】

2015/7/

計画の名称	鳥取県管理港湾及び境港における物流機能向上・施設の長寿命化による安全・安心な港湾環境の創出（防災・安全）		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	境港管理組合、鳥取県
計画の目標			

鳥取自動車道（H24年度開通予定）や山陰道（H20年代開通予定）、米子自動車道等の高速道路網に近接する鳥取県管理港湾（鳥取港・田後港・米子港）及び境港は海陸交通の結節点であり、物流拠点としての役割が今まで以上に期待される場所である。また境港においては境港－東海（韓国）－ウラジオストク（ロシア）を結ぶ日本唯一の国際定期貨客船が就航しており、物・人ともに北東アジアのゲートウェイとして重要な役割を担っている。物流機能の向上及び安全・安心な港湾環境の創出により、港湾のさらなる活性化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 岸壁の利便性向上を行い、荷役の効率化による取扱貨物量の増加を図る。(3,664千トン(H22) → 3,939千トン(H26)) 不足している小型船の係留施設やふ頭用地の解消を図るため、小型船だまりの整備を行う。(0箇所 0%(H22) → 1箇所 100%(H26)) 高潮による漁業活動への支障を解消するため、物揚場の改良を行う。(0m 0%(H22) → 240m 100%(H24)) 老朽化した橋梁の架替え及び道路整備を行い、アクセス道路の整備を行う。(0m 0%(H22) → 3,120m 100%(H26)) 老朽化等により損傷している既存施設10,585mについて、補修及び腐食対策を行い既存施設を長寿命化させ、港湾の機能維持を図る。(0m 0%(H22)→10,585m 100%(H26)) 泊地に堆積している土砂撤去等により施設機能を維持し、船舶の安全を確保する。(295日 80%(H22) → 345日 94%(H26)) 全ての港湾施設について維持管理計画を策定する。(133箇所 68%(H22) → 196箇所 100%(H26)) 機械化・自動化による的確な凍結防止剤散布による安全性の確保 (0m 0%(H22) → 1,704m 100%(H25)) 岸壁の利便性向上を行い、隠岐～本土間の旅客数の増加を図る。(44万人 98%(H22) → 45万人 100%(H26)) 外国及び国内の大型クルーズ船の安全な接岸を可能とするために岸壁の改良を行い、大型クルーズ船の誘致を図る。(10回 17%(H22) → 28回 58%(H26))
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
① 利便性向上による取扱貨物量の増加量【境港】 (取扱貨物量の増加) = (評価年次における取扱貨物量) / (H26の目標取扱貨物量3,939千トン)	3,664千トン 93%	3,801千トン 96%	3,939千トン 100%	
② 不足している小型船の係留施設やふ頭用地の解消に必要な小型船だまりの整備箇所数【境港】 (整備率) = (小型船だまりの供用箇所数) / (小型船だまりの整備箇所数1箇所)	0箇所 0%	0箇所 0%	1箇所 100%	
③ 高潮による漁業活動への支障を解消するために必要な物揚場延長【境港】 (整備率) = (物揚場の改良延長) / (物揚場の改良が必要な延長240m)	0m 0%	240m 100%	240m 100%	
④ アクセス道路の整備延長【境港】 (整備率) = (道路の供用延長) / (全体整備延長3120m)	0m 0%	270m 9%	3120m 100%	
⑤ 補修及び腐食対策により長寿命化した施設延長【鳥取港・田後港・米子港・境港】 (整備率) = (評価年次における長寿命化した施設延長) / (老朽化等により破損している既存施設延長10,585m)	0m 0%	7,381m 73%	10,058m 100%	
⑥ 泊地の土砂撤去等により施設機能が確保された日数【境港】 (機能保全確保率) = (施設機能が確保された日数) / (365日)	295日 80%	305日 83%	345日 94%	
⑦ 維持管理計画の策定施設数【境港】 (維持管理計画の策定率) = (評価年次における維持管理計画策定施設数) / (維持管理計画が必要な施設数196箇所)	133箇所 68%	153箇所 100%	196箇所 100%	
⑧ 凍結防止剤自動散布機の整備延長【境港】 (整備率) = (凍結防止剤自動散布機の整備延長) / 凍結防止剤自動散布機の整備延長1,704m)	0m 0%	680m 40%	1,704m 100%	
⑨ 利便性向上による旅客数の増加【境港】 (旅客数の増加) = (評価年次における旅客数) / (H26の目標旅客数46万人)	44万人 98%	45万人 100%	45万人 100%	
⑩ 大型クルーズ船の寄港回数増加【境港】 (クルーズ船寄港回数の増加) = (評価年次における寄港回数) / (H37の寄港回数58回)	10回 17%	16回 28%	28回 48%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	4,547.2百万円	A	4,477.4百万円	B	0.0百万円	C	69.8百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.5%
-------	---------------	------------	---	------------	---	--------	---	---------	---------------------------	------

事後評価

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価の実施時期
整備計画構成自治体・団体 (境港管理組合、鳥取県)	平成27年7月 公表の方法 境港管理組合ホームページ、鳥取県ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 港湾事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-21	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	中野物揚場(−3.0m)(改良)	物揚場改良 L=240m	境港・外港中野地区						182.8	
1-A-22	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	竹内4号岸壁(−7.5m)(改良)	岸壁改良 L=130m	境港・外港竹内地区						131.6	
1-A-23	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	臨港道路中野幹線(改良)	道路・橋梁改良 L=270m	境港・外港中野地区						72.0	
1-A-24	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	石油ドルフィン(改良)	床版補修 N=1基	境港・外港昭和南地区						6.0	
1-A-25	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	臨港道路江島幹線(改良)	舗装補修 A=2,000m ²	境港・江島地区						15.0	
1-A-26	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	中野岸壁(−4.5m)(改良)	防食 L=310m	境港・外港中野地区						22.0	
1-A-27	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	竹内1号物揚場(−3.0m)(改良)	防食 L=235m	境港・外港竹内地区						26.9	
1-A-28	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	竹内2号物揚場(−3.0m)(改良)	防食 L=300m	境港・外港竹内地区						12.0	
1-A-29	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	中野5号物揚場(−2.5m)(改良)	防食 L=100m	境港・外港中野地区						21.0	
1-A-30	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	外江2号岸壁(−4.5m)(改良)	防食 L=300m	境港・外江地区						90.0	
1-A-31	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	中野4号物揚場(−2.5m)(改良)	防食 L=100m	境港・外港中野地区						42.0	
1-A-32	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	中野3号物揚場(−2.5m)(改良)	防食 L=70m	境港・外港中野地区						39.3	
1-A-33	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	外江物揚場(改良)	防食 L=238m	境港・外江地区						52.8	
1-A-34	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	外江物揚場2号(改良)	防食 L=44m	境港・外江地区						23.7	
1-A-35	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	竹内1号岸壁(−5.5m)(改良)	防食 L=100m	境港・竹内地区						66.0	
1-A-36	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	中野7号物揚場(−2.5m)(改良)	防食 L=225m	境港・外港中野地区						84.3	
1-A-37	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	内港4号岸壁(−6.5m)(改良)	防食 L=130m	境港・内港地区						84.0	
1-A-38	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	外江物揚場3号(改良)	防食 L=188.5m	境港・外江地区						33.0	
1-A-39	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	中野8号物揚場(改良)	防食 L=140m	境港・外港中野地区						36.0	
1-A-40	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	石油ドルフィン(改良)	防食 L=606m、防舷材N=2基	境港・外港昭和南地区						63.0	
1-A-41	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	臨港道路中野幹線(福定橋)(改良)	橋梁補修 N=1橋	境港・外港中野地区						3.0	
1-A-42	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	臨港道路竹内マリナー線(高松橋)(改良)	橋梁補修 N=1橋	境港・外港竹内南地区						3.3	
1-A-43	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	臨港道路内港幹線(浜ノ橋)(改良)	橋梁補修 N=1橋	境港・外港竹内地区						4.2	
1-A-44	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	外港竹内南地区(−3.0m)(改良)	埋没浚渫 V=10,000m ³	境港・外港竹内南地区						21.6	
1-A-45	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	泊地(−2.5m)整備	浚渫 V=5,000m ³	境港・森山地区						12.0	
1-A-46	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	防波堤整備	防波堤 L=130m	境港・森山地区						120.0	
1-A-47	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	物揚場(−2.5m)整備	物揚場 L=20m	境港・森山地区						9.0	
1-A-48	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	物揚場(−1.5m)整備	物揚場 L=10m	境港・森山地区						9.0	
1-A-49	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	臨港道路江島幹線(改良)	舗装補修 A=1,300m ²	境港・江島地区						8.7	
1-A-50	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	大江物揚場(−3.0m)(改良)	物揚場補修 L=210m	境港・大江地区						18.0	
1-A-51	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	江島1号岸壁(−9.0m)(改良)	防舷材・車止め補修 L=165m	境港・江島地区						21.0	
1-A-52	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	江島2号岸壁(−7.5m)(改良)	防舷材・車止め補修 L=130m	境港・江島地区						21.0	
1-A-53	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	森山岸壁(−4.5m)(改良)	防舷材・車止め補修 L=300m	境港・森山地区						18.0	
1-A-54	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	福浦中央物揚場(−3.0m)(改良)	防舷材・車止め補修 L=20m	境港・福浦地区						9.0	
1-A-55	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	福浦西物揚場(−2.5m)(改良)	防食 L=70m	境港・福浦地区						24.0	
1-A-56	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	中央棧橋(−2.5m)(改良)	物揚場補修・防食 L=90m	境港・福浦地区						210.0	
1-A-57	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	臨港道路宇井背後線(大谷川床版橋)(改良)	橋梁補修 N=1基	境港・宇井地区						15.0	
1-A-58	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	江島1号物揚場(−3.0m)(改良)	防食 L=260m	境港・江島地区						30.0	
1-A-59	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	江島2号物揚場(−3.0m)(改良)	エプロン補修 L=120m	境港・江島地区						16.5	
1-A-60	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	維持管理	境港 長寿命化計画策定	外部9件、係留48件、交通11件	境港						17.0	
1-A-61	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	江島大橋(改良)	凍結防止材散布機 L=1,704m	境港・江島地区						140.0	
1-A-62	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	弥生護岸(改良)	防食 L=470m	境港・内港地区						126.0	
1-A-63	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	竹内3号岸壁(−5.5m)(改良)	岸壁改良 L=100m	境港・外港竹内地区						120.0	
1-A-64	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	内港3号岸壁(−6.4m)(改良)	岸壁改良 L=50m	境港・内港地区						25.0	
1-A-65	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	昭和南1号岸壁(−13.0m)(改良)	岸壁改良 L=270m	境港・外港昭和南地区						33.0	
1-A-66	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	昭和南2号岸壁(−10.0m)(改良)	岸壁改良 L=185m	境港・外港昭和南地区						36.0	
1-A-67	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	臨港道路昭和南幹線(改良)	舗装補修 L=2,250m	境港・外港昭和南地区						231.0	
1-A-68	港湾	内地	境港管理組合	直接	—	重要	改良	臨港道路内港幹線(改良)	舗装補修 A=2,000m ²	境港・内港地区						12.0	
1-A-69	港湾	内地	鳥取県	直接	—	重要	改良	4号岸壁(−5.5m)(改良)	防食 L=15m	鳥取港・千代地区	■ ■ ■ ■					62.0	H23;地域自主戦略交付金

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
										合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	社会実験	内地	境港管理組合	直接	-	防砂突堤整備	泊地保全のための突堤整備・社会実験	防砂突堤整備 L=70m、社会実験	境港・外港竹内南地区						24.0	
1-C-2	施設整備	内地	境港管理組合	直接	-	係留支援	小型係留艇の係留支援	栈橋嵩上げ N=3基	境港・外港竹内南地区						45.8	
										合計					69.8	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
1-C-1	港湾事業 (1-A-44) と一体的に整備することにより、泊地水深が保護されたことの検証を行い、安全・安心な港湾環境の創出を図る。															
1-C-2	港湾事業 (1-A-44) と併せて整備することにより、港湾の利用促進を図る。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・荷役機械の大型化に対応した岸壁改良により、施設の利便性の向上（荷役作業の効率化）に繋がった。 ・対象船舶数が利用者の高齢化等により減少するなど社会情勢の変化により、本計画は一時中止する方針とした。 ・高潮による浸水が生じていた物揚場を嵩上げすることにより、漁業活動への被害が解消された。 ・老朽化した橋梁の架替えにより当該臨港道路を利用する貨物輸送及び住民や観光客の移動の安全性が向上した。 ・老朽化した既存施設の補修及び防食工等による腐食対策を行うことにより施設の延命化や安全性が向上した。 ・泊地の埋没浚渫、棧橋の嵩上げ改良により、施設機能が確保された日数が増加した。 ・港湾施設の維持管理計画を策定することにより、計画的な点検や修繕、改良を行い施設の延命化や安全性が向上した。 ・凍結防止剤の自動散布機の整備により急勾配の橋梁の安全性が向上した。 ・旅客の利便性向上を目的とした岸壁施設の改良が完了したことなどにより、旅客数は増加傾向にある ・防舷材、係船柱など岸壁の施設改良により大型クルーズ船の寄港回数が増加し、今後もさらに増加する見込みである。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（利便性向上による取扱貨物量の増加量）	最終目標値	3,939千トン（100%）	目標値と実績値に差が出た要因	荷役の効率化に対応するとともに施設の利便性向上を目的とした岸壁改良が完了したものの、近年急速に円安傾向となったことなどにより、計画策定時に増加を見込んでいたリサイクル貨物や原木の輸入量が伸び悩んだことによる。
		最終実績値	3,612千トン（91.7%）		
	指標②（小型船の係留施設やふ頭用地の解消に必要な小型船だまりの整備箇所数）	最終目標値	1箇所（100%）	目標値と実績値に差が出た要因	不足している小型船の係留施設やふ頭用地の解消を目的としていたが、計画策定後、対象船舶数が利用者の高齢化等により減少するなど社会情勢の変化により、本計画は一時中止する方針とした。なお、新たな需要が発生した場合は、再度次期計画に位置付けることとしている。
		最終実績値	0箇所（0%）		
	指標③（高潮による漁業活動への支障を解消するために必要な物揚場延長）	最終目標値	240m（100%）	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	240m（100%）		
	指標④（アクセス道路の整備延長）	最終目標値	3,120m（100%）	目標値と実績値に差が出た要因	実施した舗装工事において、既存舗装を剥ぎ取ったところ、当初想定より多数のクラック（ひび割れ）が確認され、この処理に不測の費用と期間を要し、計画期間内の完了が困難となった。（次期社会資本総合整備計画で実施予定。）
		最終実績値	2,690m（86.2%）		
	指標⑤（補修及び腐食対策により長寿命化した施設延長）	最終目標値	10,585m（100%）	目標値と実績値に差が出た要因	一部の要素事業について、詳細調査後、計画策定時の想定以上に老朽化が進んでいることが確認され、補修工法の変更・追加が必要となったことから、事業費が増となり、計画期間内に完了することが困難となった。（次期社会資本総合整備計画で実施予定。）
		最終実績値	9813.4m（92.7%）		
	指標⑥（泊地の土砂除去等により施設機能が確保された日数）	最終目標値	345日（94%）	目標値と実績値に差が出た要因	泊地の埋没浚渫、棧橋の嵩上げ改良により、施設機能が確保された日数は増加したものの、防砂突堤による埋没対策について、施設利用者の利便性、安全性に配慮した施設計画及び関係者との調整に不測の日数を要し、計画期間内の完了が困難となった。（次期社会資本総合整備計画で実施予定。）
		最終実績値	325日（89%）		
	指標⑦（維持管理計画の策定施設数）	最終目標値	196箇所（100%）	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	196箇所（100%）		
	指標⑧（凍結防止剤自動散布機の整備延長）	最終目標値	1,704m（100%）	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	1,704m（100%）		
	指標⑨（利便性向上による旅客数の増加）	最終目標値	45万人（100%）	目標値と実績値に差が出た要因	旅客の利便性向上を目的とした岸壁施設の改良が完了したことなどにより、旅客数は増加傾向にあるものの、主な利用対象地域における少子高齢化や公共事業の減少など社会情勢の変化の影響により、旅客数が伸び悩み目標値には届かなかった。しかし、今後はH25年9月の隠岐諸島の世界ジオパーク認定を活かした観光施策や関係自治体の定住移住施策による利用者の増加が期待できる。
		最終実績値	43万人（95.6%）		
	指標⑩（大型クルーズ船の寄港回数増加）	最終目標値	28回（48%）	目標値と実績値に差が出た要因	岸壁改良により大型クルーズ客船の安全な接岸が可能となったが、外航クルーズ客船の寄港について、他国との情勢による影響を受け目標回数には届かなかった。しかし、乗客数は年々増加しているとともに、徐々に他国との情勢も改善されつつあることから、H27以降は寄港回数が急増する見込みである。
		最終実績値	11回（19.0%）		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		鳥取県及び境港市の地域防災計画において一次避難所に定められている緑地内に災害時の避難・救護への活用を目的とした全天候対応施設（広場への屋根設置）が完了した。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
・本計画終了後も引き続き目標達成に向け、施設の整備、既存施設の老朽化対策による延命化を進め、人流・物流機能の向上及び安全・安心な港湾環境の創出により、港湾のさらなる活性化を図る。					